

学童保育指導員（放課後児童支援員等）の資質向上のための研修会

第50回

全国学童保育指導員学校東北会場



2025年7月13日（日）
10：00～16：00（9：30開場）
会場：宮城教育大学

2025年7月12日（土）
14：00～15：30（13：45開場）
会場：宮城県婦人会館 第1研修室
オンライン併用（13：30受付開始）

学童保育は、「子どもたちの放課後を安全に集団の中でいきいきと成長させたい。そして安心して働きたい。」という親たちの切実な願いから生まれました。2024年5月現在、全国には3万7,094支援の単位（2万4,536か所）の学童保育があり、146万5,124人の子どもたちが毎日生活しています。毎年学童保育を希望する子どもの数が増えています。施設の整備が追いつかずに入れない子どもも増え続けています。

2011年、東日本大震災と原発事故が起きました。その後も、豪雨による水害や豪雪、度重なる地震など、自然の猛威による災害が続いていますが、東北各地の学童保育では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）対応を経て、現場では、私たちがこれまで大切にしてきた子ども・保護者との関わり方、保育のあり方が大きく変化していないでしょうか。「学童保育は社会の機能を維持するために必要な事業」という認識や期待が広がると同時に、現行の制度の脆弱性が浮き彫りとなっています。

子どもの命を守り、安全に安心して過ごせる継続的な「生活と遊びの場」を保障するために、また、高い専門性が求められる指導員が、正規・常勤雇用の専門職として自信と誇りをもって働き続けるために、ともに学びあいましょう。

主催 全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会

全国学童保育連絡協議会

青森県学童保育連絡協議会準備会・岩手県学童保育連絡協議会

宮城県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会

福島県学童クラブ連絡協議会

協力 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト

協賛 公益財団法人 仙台観光国際協会

後援（予定）

宮城県・仙台市・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県 ほか 東北各自治体

宮城教育大学・東北のマスコミ各社

◆ 日 程

7月13日（日）

9：30	10：00	12：00	13：15	16：00
受付	全体会	休憩	講座	

- 全体会 10：00～12：00（9：30～受付開始）
- 基調報告 全国学童保育連絡協議会
- 全体講義 『子どもたちに豊かな遊びの世界を』
講師：須藤 敏昭（大東文化大学名誉教授・手労研前代表）

【講師プロフィール】

1943年群馬県生まれ。東京大学教育学部卒、同・大学院修了。大東文化大学に約40年間勤務のち、現在名誉教授。専門は教育学。遊び論、学力論、教育方法論などを中心に研究。子どもの遊びと手の労働研究会（手労研）、教育科学研究会（教科研）など、民間教育運動の多方面に参与。手労研前代表。著書に『現代っ子の遊びと生活』（青木書店）など。『日本の学童ほいく』誌2023年10月号から半年間、＜講座・子どもの遊び＞を連載。

【全体会会場】 宮城教育大学 講堂 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地

【講座会場】 宮城教育大学 講義棟 ※ 宮城教育大学構内には、自販機は設置していません。

● アクセス

① 地下鉄利用の場合

仙台駅から市営地下鉄東西線八木山動物園行き
青葉山駅下車 北1出口から徒歩約9分

会場へのアクセス情報

<https://x.gd/JZDJw>



② 自動車で来場の場合 大学には駐車できません。

東北自動車道「仙台宮城 IC」より西道路経由 せんだい青葉山交流広場（有料）に駐車し、地下鉄東西線で国際センター駅から青葉山駅までご移動ください。

【公開講座】 子どもと一緒に！夏休みの昼食づくりーお弁当から簡単料理までー

7月12日（土） 14：00～15：30 （13：45 開場）

※ オンライン受付は 13：30 から

- 内容：「食」は、子どもたちが関係性を身につけ、生活の力を高める大切な場です。しかし、長い夏休みの毎日のお弁当づくりや学童保育での昼食づくりを重荷に感じている人も少なくありません。子どもと一緒に食を楽しむ“コツ”を掴んで負担感を減らし、子どもの育ちの場を充実させましょう。保護者、指導員の他、関心のある方は誰でも参加できます。
- 講師：高橋比呂映（学童保育の「食」を考える会・仙台青葉学院短期大学）
平本福子（学童保育の「食」を考える会・宮城学院女子大学名誉教授）
- 会場：宮城県婦人会館 および Zoom でのオンライン参加
（宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡 5 番地 3 階）
- 参加費：公開講座のみの参加は 無料
- 申込み：公開講座は、本大会とは別の申込みになります。7月7日（月）まで

<https://x.gd/dMVcR> または QR コードから



講座 1	学童保育とは～生活づくりで大切にしたい視点	山川美江子(山形県山形市指導員)
基礎講座	学童保育は働く保護者の願いで生まれ、子ども・保護者・指導員が「子ども一人ひとりを大切にし、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を「生活づくり」として大事にしてきました。子どもたちがいきいきと通い続けられる学童保育であるために大切にしなければならないことを学びあいましょう。	
講座 2	学童保育指導員の仕事～自分たちの役割を見つめなおす	岡澤紹子(岩手県大船渡市指導員)
基礎講座	「ただいま」の瞬間から繰り広げられる子どもたちの生活の中で、喜怒哀楽をともに過ごす仲間との時間は、かけがえのないものです。子どもたちの様々な思いに寄り添い関わること、また保護者と思いを共有し、より豊かな子育てができるよう支援することなどを通して、学童保育を安心できる遊び・生活の場として機能させることは指導員の大切な仕事です。指導員としての仕事の専門性、役割を確認し学びあいましょう。	
講座 3	保護者に寄り添う～伝え合いの大切さ	石井菜奈恵(福島県いわき市指導員)
講義	子どもが自ら進んで通い続ける「居場所」でなければならない学童保育。そのためには、指導員と保護者の連携は不可欠です。しかし、今様々な家庭の形があります。その中で保護者とどう信頼関係を作っていくか、どう「寄り添い」保護者同士のつながりを作っていくかを、考え学びあいましょう。	
講座 4	学童保育実践を支える日々の記録	天野紀子(山形県村山市指導員)
講義	指導員が日々の保育を記録し、実践を振り返り確かめることは、子どもたちと一緒に生活を作っていく上で大切な仕事(職務)です。事実と指導員の視点が記された記録は子どもたちを理解する手がかりとなります。今日は、記録の手法や工夫、課題について交流し、「記す」ことの意義を確かめあいましょう。	
講座 5	学童保育指導員のチームワーク・職場づくり	助言者 松浦 淳(青森県学童保育連絡協議会準備会)
講義	子どもたちと指導員とで遊び、生活していく学童保育。一口に指導員と言っても、その背景や思い、経験はそれぞれ違いがあります。日々の活動や業務の中で、互いに異なる指導員同士が、どのような工夫や配慮を行っているのか、その理由や効果などについて、具体的な実践例や、助言を語りあいましょう。	
講座 6	高学年を含めた学童保育の生活づくり	矢口麻美子(山形県山形市指導員)
講義	異年齢の子どもたちが毎日いっしょに過ごす学童保育の生活の中で、低学年の頃に比べ体や環境・立場・興味を抱いていることも大きく変化する高学年の子どもとどのように向きあい関わればよいでしょう。そして、どの子どもも居心地よく過ごすためには、どうつなげていけばよいか。レポート報告を中心に交流しましょう。	
講座 7	人権意識から捉え直す〈子どもの権利〉 ～子どもの well-being を保障するために	佐藤哲也(宮城教育大学)
講義	子どもは権利享受の主体者であり行使者です。しかし、権利はしばしば義務や責任との裏返しと考えられています。一方、交換条件なしに尊重されるのが人権です。児童福祉法や子ども基本法、放課後児童クラブ運営指針の基底にある〈子どもの権利〉を、人権の観点から捉え直し、“well-being”(肉体的、精神的、社会的に満たされた状態)を実現する学童保育について考えあいます。	
講座 8	学童保育と指導員をめぐる情勢と課題	門田弘之(全国学童保育連絡協議会 岩手県滝沢市指導員)
講義	国は、昨年に続き「放課後児童対策パッケージ2025」を策定しました。しかし、大規模化、途中退所の問題、不十分な施設・設備、指導員の処遇など、施策の脆弱性や、保育内容、運営主体の変更や保護者や地域との関わりなどの課題もあります。現状と課題を確かめあい、学童保育をよりよくしていくための運動の視点を学びあいましょう。	
講座 9	発達障がいのある子どもと共に育つ学童保育 ～安心できる居場所づくりを目指して	足立智昭(宮城学院女子大学名誉教授)
講義	発達障がいのある子どもたちと共に育つ学童保育の実現に向けて、トラウマインフォームドケア(TIC)の視点を学び、安全・安心な居場所づくりのための具体的な対応や関わり方を深めます。子ども一人ひとりの特性や背景を理解し、信頼関係の構築や協働、家庭への配慮を通じて、支援の質を高めることを目指しましょう。	
講座 10	子どもたち(思春期・学童期)の“性”に大人はどう向き合うの? ～助産師としての実践からお伝えできること	福島裕子(岩手県立大学)
講義	学童保育で子どもの性の悩みや健康問題に向きあうとき、“性の正しい知識もないでしょう!!”と、戸惑ってしまいますよね。でも知識がなくても大丈夫。「生」は生きる権利であり、子どもの存在そのものです。この分科会で子どもの「性」に向きあう大人の姿勢について一緒に考えましょう。	
講座 11	指導員みんなで深める子ども理解	後藤 篤(公立大学法人 宮城大学)
講義	一人ひとりの子どもの言葉や行動、あらゆる表現を受けとめて丁寧に向きあう中で、指導員それぞれが把握している事実をチームで共有し、考えあうことはとても大切です。子どもが発した言葉や行動にはどんな意味があるのか、その背景にはどんな思いが込められているのか…、より深く子どもに寄り添うための視点をこの講座で学びあいましょう。	

- ◆ **受講料** 一人 2,500 円 (税込) ※公開講座のみの参加者は無料

【東日本大震災被災地からの参加者への受講支援】

東日本大震災で被害が大きかった、岩手県、宮城県、福島県の各地域からの受講者には、全国学童保育連絡協議会に寄せられた「東日本大震災 学童保育支援募金」から受講のための支援をします。詳細は各県の連絡協議会にお問合せください。

- ◆ **定員** 申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。
※ 午後の講座は第2希望までご記入ください。定員超過の際はご希望に沿えないこともあります。

- ◆ **昼食** 希望者には弁当を800円で斡旋します。
※会場の宮城教育大学近隣にはコンビニや飲食店はありません。

- ◆ **保育** 対象 3歳以上 一人につき 300円 (おやつ代・保険代含む) 当日支払い
※ 保育の申込み先 <https://x.gd/XGFlk> 6月20日(金)まで

- ◆ **申込み方法**

- 申し込み用紙に必要な事項をご記入のうえ、受講料 (一人 2,500 円) と弁当代 (希望者) を指定の口座に送金し、控えのコピーを添えてメールまたは FAX でお申し込みください。
- 申し込みの際に記入いただいた個人情報は、指導員学校の受付業務・運営・助成金申請に必要な範囲で、実行委員会が管理・運用致します。

- ◆ **申込み先** **青森県：青森県学童保育連絡協議会準備会** 【詳細は別紙をご覧ください】
宮城県：宮城県学童保育連絡協議会 【詳細は別紙をご覧ください】
山形県：山形県学童保育連絡協議会 【詳細は別紙をご覧ください】
福島県：福島県学童クラブ連絡協議会 【詳細は別紙をご覧ください】
岩手県・その他の県：岩手県学童保育連絡協議会 【詳細は別紙をご覧ください】

***上記5県以外の方の申込先**

岩手県学童保育連絡協議会 FAX：019-681-0651
Mail：iwate-gakudou@iaa.itkeeper.ne.jp

受講料送金先：ゆうちょ銀行 記号 18380 番号 22331981

口座名 岩手県学童保育連絡協議会

- * 他金融機関からの振込 ゆうちょ銀行・店名 八三八・普通預金 2233198
振込手数料については各自負担になりますので、ご了承ください。

- **締切り 6月20日(金)** キャンセル期限 6月27日(金)

※キャンセル期限までにご連絡いただいた場合は、振込み手数料を差し引いて返金致します。
それ以降につきましては、「受講のしおり」の発送をもってかえさせていただきます。

- ◆ **問合せ先** 研修内容：全国学童保育連絡協議会 03-3813-0477
申込み等：岩手県学童保育連絡協議会 019-681-0651
または、青森・宮城・山形・福島 各県の連絡協議会まで。

- ◆ **お願い**

- ・受講時の不測の事態に備え、当日確実に連絡が付く連絡先を必ずご記入ください。
- ・「受講のしおり」は、当日会場にてお渡しいたします。
- ・受講のための受講票を発送いたします。